

暗唱用スピーチ練習 Setting Up a Debate

2026 年 7 月版

この教材では、即興型英語ディベートの試合冒頭で必要になる Definition、Model、Opposition Team Line を学びます。前半では最低限の知識と詳しい説明を確認し、後半では必要な冒頭部分だけを暗唱します。モデルスピーチは、Speech 1～5 の肯定側立論に対応しています。

■ この教材で学ぶこと

ディベートでは、よい議論を思いつくだけでは十分ではありません。肯定側は、何について議論し、政策論題ではどのような政策を実施するのかを示します。否定側は、肯定側の説明を聞いたうえで、なぜその提案を採用すべきでないかを、一貫した立場として示します。

- ・ Definition：論題の意味や、議論する範囲を明確にする。
- ・ Model：政策を誰が、誰に対して、どのように実施するか説明する。
- ・ Opposition Team Line：否定側が、なぜ肯定側の政策に反対するのかを短く示す。

この教材では、これらを広い意味で試合の setup と呼びます。WUDC の公式マニュアルでは Definition と Model が区別され、WSDC の資料でも論題を公平かつ通常の意味で扱うことが重視されています。ただし、形式や大会によって細かなルールや用語は異なるため、実際には参加する大会の規則と主催者の説明を優先してください。[1][2]

■ 最低限知っておきたいこと

項目	最低限の説明	基本表現
Definition	重要な語句や適用範囲を必要な分だけ明確にする。	First, let me briefly clarify the scope of this debate.
Model	政策の実施主体、対象、行動、必要な例外を示す。	Let me explain our model. / Under our model, ...
Team Line	チームの試合全体の立場を一文で示す（特に否定側で大切）。	Our team line is that ...
不適切な Definition	特殊な時代・場所への限定、論題の不自然な縮小を避ける。	Follow the ordinary meaning of the motion.

■ 1. Definition とは何か

1.1 論題の意味と範囲を明確にする

Definition とは、論題に含まれる重要な語句の意味や、議論する範囲を明確にすることです。ただし、すべての単語を辞書のように説明する必要はありません。通常の意味で十分に理解できる語句はそのまま使い、混乱が生じそうな部分だけを短く説明します。

Definition の目的は、自分たちに有利な別の論題を作ることではありません。相手チームとジャッジが、同じ問題について議論できるようにすることです。

必要な説明の例	英語表現
対象を明確にする	In this debate, “students” mainly refers to junior high and high school students.
範囲を明確にする	We will discuss regular school days, not students’ private activities outside school.
通常の意味に従う	Our definition follows the ordinary meaning of the motion.

1.2 Definition と Model を混同しない

Definition は「何について議論するか」を示し、Model は「政策をどのように実施するか」を示します。旧来の教材では政策の細部まで Definition に含める場合もありましたが、学習上は二つを分ける方が分かりやすくなります。

Definition	Model
In this debate, “at school” means during the school day and on school grounds.	Under our model, students must keep their smartphones inside their bags during lessons.
論題の語句・対象・範囲	実施主体・対象・行動・例外・執行方法

1.3 よい Definition の条件

- ・ 論題の通常の意味に従っている。
- ・ 議論に必要な対象や範囲を明確にしている。
- ・ 論題を不当に小さくしたり、別の問題に変えたりしない。
- ・ 両チームが合理的に議論できる範囲を保っている。

■ 2. 不適切な Definition

自分たちに有利になるように、論題の場所、時代、対象、意味を不自然に変えてはいけません。以下は、初心者が特に知っておきたい代表例です。

2.1 Place-setting：特定の場所だけに限定する

論題が場所を指定していないのに、肯定側が試合中に突然、特定の国、都市、学校だけへ限定することは、国際大会では通常避けます。特殊な場所を選ぶことで、相手側が予想していた論題や利用できる知識が大きく変わり、不公平になるためです。

ただし、論題に “in Japan” や “Japanese schools” と書かれている場合、infoslide や clarification で日本が指定されている場合、大会規則や参加者全体に共有された明確な慣習によって日本が共通の設定になっている場合は、日本を前提にして構いません。大切なのは、肯定側だけが後から場所を選ぶのではなく、両チームが準備開始時から同じ設定を共有していることです。WSDC では、論題作成者が infoslide を付けたり、prepared motions について全チームに公開された clarification を示したりする運用があります。[3][4]

避けたい例	認められる例
Motion に指定がないのに、肯定側が “We only discuss one private school in Tokyo.” と突然限定する。	Motion が “Japanese schools should …” となっている。
国際大会で、肯定側だけが “We only discuss Japan.” と後付けする。	大会側が “For the purpose of this debate, assume that the debate takes place in Japan.” と示している。

2.2 Time-setting：特定の時代に移す

論題に時代の指定がない場合、原則として現在の状況について議論します。スマートフォンの論題を 2005 年へ移したり、現在の政策を遠い未来の特殊な条件だけで議論したりしてはいけません。

一方、政策の現実的な導入時期を Model で説明することは、禁止される time-setting とは異なります。“The policy will begin from the next school year.” や “Schools will have a one-year transition period.” などは、現在決定する政策の合理的な移行期間です。

2.3 Squirrel：論題を別の問題に変える

論題の語を不自然に解釈したり、対象を極端に狭めたりして、肯定側が本来負うべき説明から逃げる Definition や Model を、一般に squirrel または squirrelling と呼びます。

Motion	不適切な設定の例
Students should use AI for learning English.	“AI”を普通の電卓だけと定義する。
Schools should give less homework.	年に一度だけ、宿題を一問減らす Model にする。
Students should not use smartphones freely at school.	スマートフォンとほぼ無関係な、準備済みの別論題へ話を移す。

2.4 Truism：反対がほぼ不可能な Definition

「確実に利益があり、害が一切ない場合だけ実施する」のように、当然に正しい内容だけへ限定すると、否定側に合理的な議論の余地がほとんど残りません。Definition は、両側が議論可能な範囲を保つ必要があります。

2.5 Vague Definition / Model：必要な点が曖昧である

“We will control AI use in an appropriate way.” だけでは、誰が、何を、どの範囲で規制するか分かりません。ただし、法律の条文のようにすべての細部を説明する必要もありません。両チームが政策の効果と害を議論できる程度に、中心的な仕組みを明確にします。

■ 3. Model とは何か

政策論題では、肯定側は政策の基本的な実施方法を Model として説明します。必要な Model は、最初の肯定側スピーチで示します。

要素	確認すること	例
Actor	誰が実施するか	Schools will introduce this rule.
Target	誰が対象か	The rule applies to junior high and high school students.
Action	何をするか	Students must keep their phones inside their bags during lessons.
Exception	どの例外を認めるか	Students may use them in an emergency.
Enforcement	必要なら、どう執行するか	Repeated violations may lead to temporary collection.

Model を詳しく説明しただけでは議論は完成しません。Model の後には、現状の問題、政策による行動の変化、問題が改善する仕組み、利益の重要性を説明します。この教材の Model 例は、議論が始まる直前で切っています。

■ 4. Opposition Team Line とは何か

Team Line とは、そのチームがなぜ論題を肯定または否定するのかを、短くまとめた中心的な立場です。否定側は、肯定側の Definition と Model を聞いた後で、現状を守るのか、政策の効果を否定するのか、よりよい対応を示すのかを決めます。

Team Line は、相手の議論への詳しい反論より前に示します。これから行う反論や新しい議論を一本につなぐ、試合全体の出発点だからです。

■ 5. 政策論題における否定側の 3 つの主な立場

Type	中心的な立場	中心となる問い
Type 1: No Need for Change	現状の仕組みや既存ルールで対応でき、新しい政策は必要ない。	Is a new policy necessary?
Type 2: The Model Will Not Work	問題はあるが、肯定側の Model では原因を解決できない。	Will the model actually work?
Type 3: There Is a Better Response	問題はあるが、より限定的・安全・効果的な対応がある。	Which response is better?

この 3 分類は厳密な規則ではありません。矛盾しない範囲で組み合わせることもできます。ただし、初心者は一つを主な Team Line として選び、必要なら一つだけ補助的に加えると、立場が明確になります。

5.1 Type 1: No Need for Change

問題が全くない、現状が完璧である、と主張する必要はありません。現在のルール、個別指導、既存制度の執行改善などによって対応できるため、より広い政策は必要ないと説明します。

基本形：We agree that the problem exists. However, the current system already has ways to deal with it. The government has not shown why a new and broader policy is necessary.

5.2 Type 2: The Model Will Not Work

現状の問題を認めたとうえで、肯定側の政策が原因に対応していない、回避される、実施できない、問題を別の場所へ移す、新しい害を生む、などと説明します。現状が悪いことは、政府案がよいことを自動的には意味しません。

基本形：We agree that the present situation is not perfect. However, the government's model does not address the main cause of the problem.

5.3 Type 3: There Is a Better Response

より限定的な規制、教育、個別対応、既存制度の改善、別の主体による対応などを比較対象として示します。完全な Counterplan を必ず作る必要はありませんが、明確な代替政策を出す場合には、肯定側の Model と同時には実施できない mutually exclusive な選択肢であることを明確にします。

基本形：We agree that some change is necessary. However, the government's model is broader than necessary. A clearer and more limited response can solve the problem with less harm.

■ 6. Alternative / Counterplan と mutual exclusivity

否定側は、よりよい方向性を示すだけでよく、常に完全な Alternative Plan や Counterplan を提示する必要はありません。たとえば、“Schools can use clearer rules and education instead.” は比較の方向性です。

一方、独自の政策 Model を具体的に示す場合、Government の Model と Opposition の方針を同時に採用できないこと (mutually exclusive であること) が必要です。たとえば、Government が「原則禁止・許可があるときだけ使用」とするのに対し、Opposition が「原則利用可能・有害行為だけを個別規制」とするなら、両者は mutually exclusive です。

■ 7. 否定側が Team Line を作るための 4 つの質問（政策論題の場合）

Question	考えること
1. Do we agree that the problem exists?	問題の存在と深刻さをどこまで認めるか。
2. Can the current system deal with the problem?	既存制度や個別対応で十分か。
3. Will the government's model actually solve the problem?	原因に対応し、実施され、利益を生むか。
4. Is there a less harmful or more effective response?	より限定的・安全・効果的な方法があるか。

■ 8. Opposition 冒頭の共通テンプレート

Good afternoon.
We accept the affirmative's definition and model.
The affirmative supports this policy because they believe that ...
However, we oppose the motion.
Our team line is that ...
[Brief explanation of our world or qualification.]
In this speech, I will first respond to ... Then, I will explain ...
Let me begin with their first argument.

Team Line の前には、相手の立場を一文程度で確認するだけにします。相手の因果関係がなぜ成立しないか、利益が小さい理由、具体例などは、Team Line と allocation を示した後の反論部分に回します。

Model Speech Openings for Memorization

以下はスピーチ全体ではありません。Definition、Model、Team Line を示し、議論や反論が始まる直前までを暗唱します。

■ Speech 31 Giving a Short and Necessary Definition

[Students should wear school uniforms.] 生徒は学校の制服を着るべきだ。

Side: Affirmative / Government

Good afternoon.

We support the motion that students should wear school uniforms.

First, let me briefly clarify the scope of this debate.

In this debate, we will mainly discuss junior high and high school students. Students will wear uniforms on regular school days when they attend classes. We are not discussing what students should wear at home, during holidays, or in their private activities outside school.

Our definition follows the ordinary meaning of the motion and gives both teams a clear and fair question to debate.

Today, our side will show two benefits. First, school uniforms make students' daily lives easier. Second, they help students feel that they belong to the same school community.

〈この後、二つの議論の説明が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・“school uniform”自体は一般に理解できるため、定義していません。
- ・主な対象、通常の登校日、学校外の私生活を対象にしないことだけを明確にしています。
- ・Definitionの後で、既存のSpeech 1と同じ二つの議論を予告しています。
- ・分かりきった単語をすべて定義するのではなく、試合の範囲に混乱が生じそうな点だけを短く明確にします。

■ Speech 32 Explaining a Policy Model

[Students should not use smartphones freely at school.] 生徒は学校でスマートフォンを自由に使うべきではない。

Side: Affirmative / Government

Good afternoon.

We support the motion that students should not use smartphones freely at school.

Let me explain our model.

This rule will apply to junior high and high school students during the school day. Students may bring smartphones to school, but they must keep them switched off or in silent mode and inside their bags during lessons.

Students may use their smartphones when a teacher gives permission for learning. They may also use them in an emergency. Each school may decide whether to allow limited use during lunch or after classes.

Students who repeatedly break the rule may be required to leave their smartphones with a teacher during the school day. We do not permanently take smartphones away from students.

This is our model.

Today, we will show that this policy helps students concentrate on lessons and prevents harmful uses such as taking pictures without permission or sending unkind messages.

〈この後、二つの議論の説明が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・ Actor、Target、Action、Exceptions、限定的な Enforcement を示しています。
- ・ Model の説明を終え、既存の Speech 2 の二つの議論を予告したところで切っています。
- ・ Model 自体は議論ではないため、実際の試合ではこの後に因果関係と利益を説明します。
- ・ “freely” を完全な所持禁止と解釈せず、授業中を中心に管理し、学習や緊急時の利用を認める Model です。

■ Speech 33 Explaining a Simple Model

[Club activities should not be mandatory.] 部活動を強制するべきではない。

Side: Affirmative / Government

Good afternoon.

We support the motion that club activities should not be mandatory.

Let me explain our model.

Under our model, schools may continue to offer sports, music, art, science, and other club activities.

However, students will be free to decide whether to join a club.

Schools should give students enough information before they make this choice. For example, they may hold club fairs, introductory meetings, and trial activities.

Students who choose to join a club will follow its ordinary rules and responsibilities. However, regular membership in a club will not be compulsory.

This is our model.

Today, we will show that students have different needs and schedules, and that club activities work better when students choose them for themselves.

〈この後、二つの議論の説明が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・ 部活動は存続し、入部だけを本人の選択にします。
- ・ 選択前の情報提供と体験機会を示しています。
- ・ Model は必要な中心部分だけを説明します。細部を増やしすぎると、重要な仕組みが見えにくくなります。

■ Speech 34 Opposition Type 1: No Need for Change

[Students should wear school uniforms.] 生徒は学校の制服を着るべきだ。

Side: Opposition / Negative

Good afternoon.

We accept the affirmative's definition.

The affirmative supports compulsory school uniforms because they believe uniforms make school life easier and create equality and belonging.

However, we oppose the motion.

Our team line is that schools can create an appropriate and fair learning environment without forcing every student to wear the same clothes.

The present system does not mean that students may wear anything they want. Schools can still set basic rules for safe and appropriate clothing. They can also respond directly when students face bullying or unfair pressure because of their clothes.

In this speech, I will first respond to the affirmative's arguments. Then, I will explain why allowing students to choose their clothes is better for students.

Let me begin with their first argument.

〈この後、肯定側の議論への反論が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・相手の二つの議論は一文だけで確認し、詳しい反論より先に Team Line を示しています。
- ・現状は「何を着てもよい世界」ではなく、基本的な服装規定と個別対応があることを説明しています。
- ・反論と否定側の新しい議論の allocation を示したところで切っています。
- ・現状が完璧だとは主張せず、既存の仕組みで問題に対応できるため、制服の強制は必要ないとしています。

【Team Line】

Schools can create an appropriate and fair learning environment without forcing every student to wear the same clothes.

■ Speech 35 Opposition Type 2: The Model Will Not Solve the Problem

[Schools should give less homework.] 学校は宿題を減らすべきだ。

Side: Opposition / Negative

Good afternoon.

We accept the affirmative's definition and model.

The affirmative supports less homework because they believe it will protect students' health and improve the quality of learning.

However, we oppose the motion.

Our team line is that reducing the amount of homework does not solve the main causes of students' stress and may remove necessary opportunities to practice.

We agree that schools should remove meaningless tasks and avoid giving students more work than they can reasonably complete. However, that is different from reducing the overall amount of useful homework.

In this speech, I will first respond to the affirmative's two arguments. Then, I will explain why regular and meaningful practice remains necessary for learning.

Let me begin with their first argument about students' health.

〈この後、肯定側の議論への反論が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・現状の問題は認めますが、肯定側の Model では原因を十分に解決できず、新しい学習上の害が生じるとします。
- ・ Team Line の前では、肯定側の目的を一文で確認するだけにしています。
- ・ 「無意味な宿題は減らす」という説明を置き、すべての宿題を無条件に守る立場ではないことを示しています。
- ・ ストレスの他の原因など、具体的な反論はこの後の部分に回しています。

【Team Line】

Reducing the amount of homework does not solve the main causes of students' stress and may remove necessary opportunities to practice.

■ Speech 36 Opposition Type 3: A Mutually Exclusive Better Response

[Students should not use smartphones freely at school.] 生徒は学校でスマートフォンを自由に使うべきではない。

Side: Opposition / Negative

Good afternoon.

We accept the affirmative's definition.

Under their model, students must normally keep their smartphones switched off or inside their bags and may use them only with permission.

We oppose this model.

Our team line is that students should normally be allowed to use their smartphones during free periods, while schools directly prohibit and punish harmful uses.

The affirmative starts from general restriction. Our side starts from responsible use.

In this speech, I will first respond to their argument that smartphones distract students from lessons.

Then, I will explain why our approach better teaches responsible use.

Let me begin with their argument about concentration.

〈この後、肯定側の議論への反論が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・ Government の Model を短く確認してから、反対する Model を明確に示しています。
- ・ Government は「原則制限・例外的許可」、Opposition は「原則利用可能・有害行為だけを個別規制」です。
- ・ 二つを同時には実施できないため、mutually exclusiveであることを明示しています。

【Team Line】

Students should normally be allowed to keep and use their smartphones at school, while schools directly prohibit and punish specific harmful uses.

■ Speech 37 Opposition Type 2 and Type 3: A Safer Way to Use AI

[Students should use AI for learning English.] 生徒は英語学習に AI を使うべきだ。

Side: Opposition / Negative

Good afternoon.

We accept the affirmative's definition.

The affirmative supports AI because they believe it gives students more practice and useful feedback.

However, we oppose making AI a normal learning tool for beginners.

Our team line is that beginners should first think, write, and correct their English by themselves, and use AI only later under limited guidance.

Our side does not support a complete ban on AI. We believe the order of learning is important.

Students should make their own first attempt before they receive help from AI.

In this speech, I will first respond to the affirmative's arguments about practice and feedback. Then, I will explain why independent thinking should come before AI support.

Let me begin with their argument about practice.

〈この後、肯定側の議論への反論が続く〉

【スピーチのポイント】

- ・ 肯定側の二つの理由を一文で確認し、詳しい反論を Team Line の後に回しています。
- ・ AI を全面禁止せず、「最初は自力、その後に限定的・指導下で利用」という立場を示しています。
- ・ Type 2 の効果への疑問と、Type 3 のより安全な対応を組み合わせています。

【Team Line】

Beginners should first think, write, and correct their English by themselves, and use AI only later under limited guidance.

■ 暗唱練習の進め方

Step 1：音声を聞く

スクリプトを見ずに聞き、どちらの立場か、Definition または Model は何か、否定側の Team Line は何かを確認します。

Step 2：スクリプトを見ながら聞く

Definition、Model、相手の立場の確認、Team Line、allocation を示す表現に線を引きます。

Step 3：まとまりごとに音読する

- ・ Opening
- ・ Definition または Model の確認
- ・ 相手の立場の短い確認
- ・ Team Line
- ・ 自分たちの世界の説明
- ・ この後の内容の予告

Step 4：短いメモだけで話す

全文ではなく、キーワードだけを見て話します。例：accept model / Aff: health & quality / team line / meaningless work vs useful practice / allocation

Step 5：一部を変更する

元の型を残し、別の論題へ対象、Model、Team Line を入れ替えます。暗唱した英文をそのまま使うのではなく、試合に合わせて必要な部分を修正します。

■ 出典・参考資料

Definition、Model、place-setting、time-setting、squirrelling、Opposition の立場、infoslide / clarification の説明は、以下の英語資料と旧版 Book 2 を参照して整理しました。競技形式や大会ごとに細かな扱いが異なるため、参加する大会の最新規則を優先してください。

[1] World Universities Debating Council. WUDC Debating & Judging Manual. World Universities Debating Council. <https://www.worlddebating.org/wudc-manual>

[2] World Schools Debating Championships. Resources: WSDC Rules, How to Debate Guide, Adjudicators Guide, and Motion Bank. <https://www.wsdcddebating.org/services-4>

[3] International Debate Education Association. "Motions and Teams at WSDC 2022." Infoslides attached to motions illustrate tournament-provided shared context. <https://idebate.net/motions-and-teams-at-wsdc-2022~b2265/>

[4] International Debate Education Association. "WSDC 2025 motions." Prepared-motion clarifications were made publicly available to all teams. <https://idebate.net/debate-motions-for-wsdc-2025~b5269/>

[5] 小林良裕『A New Introduction to Debating in English [Book 2]』S.A.D. Works, Lesson 11, pp. 133-146.

■ この教材での用語

本教材では、論題の語句や議論の範囲を明確にすることを Definition、政策の実施方法を Model、否定側の試合全体の基本的な立場を Opposition Team Line と呼びます。“Team Line”や“Counterplan”の用語法は地域・形式によって異なりますが、ここでは初心者が試合冒頭の構造を理解するための学習上の区別を採用しています。

31. 生徒は学校の制服を着るべきだ。

こんにちは。

私たちは、生徒は学校の制服を着るべきだという論題を支持します。

まず、この試合で扱う範囲を簡単に明確にします。

この試合では、主に中学生と高校生について議論します。生徒は、授業を受ける通常の登校日に制服を着用します。家庭、休日、または学校外の私的な活動で何を着るべきかについて議論するものではありません。

私たちの定義は論題の通常の意味に従っており、両チームに明確で公平な論点を与えます。

本日、私たちは二つの利益を示します。第一に、制服は生徒の日常生活を楽しめます。第二に、制服は、生徒が同じ学校の一員であると感じる助けになります。

32. 生徒は学校でスマートフォンを自由に使うべきではない。

こんにちは。

私たちは、生徒は学校でスマートフォンを自由に使うべきではないという論題を支持します。

私たちのモデルを説明します。

この規則は、学校で過ごす時間中の中学生と高校生を対象とします。生徒はスマートフォンを学校へ持ってきて構いませんが、授業中は電源を切るかサイレントモードにし、かばんの中に入れておかなければなりません。

教師が学習目的で許可した場合、生徒はスマートフォンを使用できます。緊急時にも使用できます。昼休みや放課後の限定的な使用を認めるかどうかは、各学校が決めることができます。

繰り返し規則に違反した生徒には、学校で過ごす時間中、スマートフォンを教師に預けるよう求めることがあります。スマートフォンを永久に取り上げることはありません。

以上が私たちのモデルです。

本日、私たちは、この政策が生徒の授業への集中を助け、許可なく写真を撮ることや、思いやりのないメッセージを送ることなどの有害な使用を防ぐことを示します。

33. 部活動を強制するべきではない。

こんにちは。

私たちは、部活動を強制するべきではないという論題を支持します。

私たちのモデルを説明します。

私たちのモデルでは、学校は引き続き、スポーツ、音楽、美術、科学、そのほかの部活動を用意できます。しかし、生徒は部活動に入るかどうかを自由に決めることができます。

学校は、生徒が選択する前に十分な情報を与えるべきです。例えば、部活動紹介、説明会、体験活動などを実施できます。

部活動に入ることを選んだ生徒は、その部の通常の規則と責任に従います。しかし、部活動への通常の所属を義務にはしません。

以上が私たちのモデルです。

本日、私たちは、生徒にはそれぞれ異なる必要や予定があり、部活動は生徒が自分で選ぶときに、よりよいものになることを示します。

34. 生徒は学校の制服を着るべきだ。

こんにちは。

私たちは、肯定側の定義を受け入れます。

肯定側は、制服によって学校生活が楽になり、平等感と一体感が生まれると考えているため、制服の義務化を支持しています。

しかし、私たちはこの論題に反対します。

私たちのチームラインは、すべての生徒に同じ服を着るよう強制しなくても、学校は適切で公平な学習環境を作ることができる、というものです。

現状は、生徒が何を着てもよいという意味ではありません。学校は、安全で適切な服装についての基本的な規則を設けることができます。また、服装を理由とするいじめや不当な圧力を生徒が受けた場合には、直接対応することもできます。

このスピーチでは、まず肯定側の議論に反論します。その後で、生徒が自分の服を選べる方がよい理由を説明します。

それでは、肯定側の最初の議論から始めます。

35. 学校は宿題を減らすべきだ。

こんにちは。

私たちは、肯定側の定義とモデルを受け入れます。

肯定側は、宿題を減らすことで生徒の健康を守り、学習の質を高められると考えているため、宿題の削減を支持しています。

しかし、私たちはこの論題に反対します。

私たちのチームラインは、宿題の量を減らしても、生徒のストレスの主な原因は解決されず、必要な練習の機会を失う可能性がある、というものです。

私たちは、学校が意味のない課題をなくし、生徒が合理的に終わられる量を超えて課題を出すべきではないことには同意します。

しかし、それは、役に立つ宿題全体の量を減らすこととは異なります。

このスピーチでは、まず肯定側の二つの議論に反論します。その後で、定期的で意味のある練習が学習に必要である理由を説明します。

それでは、生徒の健康に関する肯定側の最初の議論から始めます。

36. 生徒は学校でスマートフォンを自由に使うべきではない。

こんにちは。

私たちは、肯定側の定義を受け入れます。

肯定側のモデルでは、生徒は通常、スマートフォンの電源を切るか、かばんの中に入れておかなければならず、許可がある場合にのみ使用できます。

私たちは、このモデルに反対します。

私たちのチームラインは、生徒は休み時間には通常スマートフォンを使用できるようにし、その一方で、学校は有害な使用を直接禁止し、処罰するべきだ、というものです。

肯定側は全般的な制限から出発します。私たちは、責任ある使用から出発します。

このスピーチでは、まず、スマートフォンが生徒の授業への集中を妨げるという肯定側の議論に反論します。その後で、私たちの方法の方が責任ある使用をよりよく教えられる理由を説明します。

それでは、スマートフォンが生徒の授業への集中を妨げるという肯定側の議論から始めます。

37. 生徒は英語学習に AI を使うべきだ。

こんにちは。

私たちは、肯定側の定義を受け入れます。

肯定側は、AI によって生徒がより多く練習でき、役に立つフィードバックを得られると考えているため、AI の利用を支持しています。

しかし、私たちは、初心者が AI を通常の学習道具として使うことには反対します。

私たちのチームラインは、初心者はまず自分で考え、書き、自分の英語を直し、その後で、限定的な指導の下で AI を使うべきだ、というものです。

私たちは、AI の全面禁止を支持しているわけではありません。学習の順序が重要だと考えています。生徒は、AI から助けを受ける前に、まず自分で取り組むべきです。

このスピーチでは、まず練習とフィードバックに関する肯定側の議論に反論します。その後で、なぜ AI の支援より先に自分で考えることが必要なのかを説明します。

それでは、練習に関する肯定側の議論から始めます。